

VOL.3

# ゆらうみ通信 10月



●土日も診療しています ●女性スタッフがいます ●お子様連れOK ●痛くない優しい施術

## 秋になりました

こんにちは。先月は本当にきれいな中秋の名月でしたね。朝晩がすっかり秋の空気になり、少し肌寒さを感じる季節となりました。就寝時の格好も半袖から長袖へ着替えた方も多いのではないのでしょうか？日中に着る服もそろそろ衣替え。私も先日、天気の良い日に、この夏一度も着なかった服や、もう着なそうな服をたくさん処分して、（H&Mでリサイクルに出しました）夏の疲れとともにスッキリ衣替えを終えました(^^)みなさんも、タンスやクローゼットの中を整理して、いっきに衣替えをしましょう！とってもスッキリします！H&Mのリサイクルは1袋500円のクーポンももらえてお得ですよ☆

## 10月のお知らせ

10月のお休み

毎週火曜日

10月12日（月）体育の日



## 美幸先生の結婚式へ行って参りました

9月23日秋分の日、美幸先生の結婚披露宴へ行って参りました。美幸先生がゆらうみで働いていたのは、2012年春から2015年2月までの3年弱。

ゆらうみのお花のような存在感で、院内をぱっと明るくしてくれました。とても礼儀正しく頑張り屋の美幸先生でしたので、患者さまのファンも多く、失った存在の大きさを感じています。しかし、なげいてばかりもいられません！美幸先生の優しさを受け継ぎ、残された私たちで、より良いゆらうみ鍼灸接骨院を作っていこうと固く心に決意いたしました。

美幸先生の結婚披露宴の様子はアメーバブログ「ゆらうみ日記」にて公開しておりますのでどうぞご覧ください。

### 予約制

診療時間/休診日	月	火	水	木	金	土	日
10:00~12:30	○	診	○	○	○	診	○
15:00~20:00	○	診	○	○	○	○	○

午前10：00～12：30  
午後15：00～20：00  
土曜日は午後のみ診療  
休日：火曜日・祝祭日

〒113-0022  
東京都文京区千駄木3-39-1  
TEL **03-5685-6877**  
HP <http://www.yuraumi.com/>



## 新料金

- 全身の治療  
60分前後 6480円
- 部分治療  
30分前後 3890円
- 鍼灸の全身治療  
60分前後 6480円

注：さらに時間が必要な場合はご相談の上時間を延長させていただく場合があります。

- 美容鍼（首・肩の施術＋美顔鍼）  
60分前後 6480円
- 美顔鍼（表情筋マッサージ＋顔鍼）  
40分前後 4320円
- リフレクソロジー（足裏～ふくらはぎ）  
30分前後 3890円

## ゆらうみ鍼灸接骨院でできること

腰痛・肩こり・首の痛み・頭痛・  
手や腕、肘の痛み、痺れ・足のむくみ・リンパ浮腫・膝痛・眼精疲労・耳鳴り・めまい・動悸・息切れ・鼻詰まり・咳・胃の不快感・  
つわり・自律神経失調症・生理痛・  
月経不順・月経前症候群・不妊・  
妊娠中の不定愁訴など

## がん

先月末、タレントで鬼嫁として有名な北斗晶さんが、自身が乳がんであることを公表されました。その翌日、今度は女優の川島なお美さんが膵臓のがんで他界され、それから数日のうちに女優の仁科亜季子さんが大腸がんの手術を受けたとのニュースが入り、同じ年代の女性の方々は戦々恐々とされたと思います。

そこで今月号は、みなさんの気になるガンについて書いていこうと思います。と、言いましても私どもは専門家ではありませんので、とくに最近の読売新聞に載っていた最新の医療記事から、皆さんにも知っていただきたい情報をここに抜粋させていただきます。

## 子宮頸がんワクチン問題

まず、子宮頸がんとは、主に20代から40代の女性に発症することが多い、子宮の入口付近に発生するガンです。普通の婦人科の診察でも発見されやすく、比較的治療しやすい予後の良いガンではあります。原因は、性交渉によりヒトパピローマウイルスに感染することで発症します。ただし、感染したからといってすぐガンになるわけではなく、90%以上の方が2年以内に自然に体外から排出することができます。何らかの理由で、長期にわたり持続的に感染した場合にガンになるようです。子宮頸がんの初期症状は出ないことが多く、中期になると、生理のとき以外に出血したり、おりものの量が増えたりします。次第に進行していくと、血尿が出たり足腰に痛みが出たりするようです。その子宮頸がんのワクチン問題の記事を読売新聞からの抜粋させていただきます。たった一ヶ月でこのように進展していきました。以下。  
2015/8/20

子宮頸がんワクチンは、2013年の4月から国の定期予防接種となったが、体の痛みなどの症状が出たという報告が相次ぎ、同年6月以降、積極的に接種を勧めることを中止している。厚労省の有識者検討会では、接種後の症状は、痛みや不安に対する心身の反応が引き起こしたもの、と見解を示したが、一部の専門家からは批判の声が上がっている。

2015/8/30

産婦人科学会は国に対し、接種後の症状に対する診療手引きを公表したことなどから、接種できる環境は整ったとして、子宮頸がんワクチンの接種推奨を再開するよう求めた。

2015/9/18

子宮頸がんワクチンを定期接種後、健康被害の出た6人に対し、医療費を支給することを決定した。定期接種になる前に任意で摂取した人に対しても、独立行政法人【医薬品医療機器総合機構】が窓口となり、9月24日から救済する審査を開始。

2015/9/24

厚労省は、定期接種になる前の任意接種で健康被害を受けた11人に医療費を支給する方針を決めた。医療費の自己負担分や医療手当（月額3万4千円～3万6千円）を給付する。